

施設改築で市民提案

狛江市 人がつながる場所に

狛江市民センターの増改築について、市民センターを考える市民の会」は6日、高橋都彦市長に提案書を提出した。

図書館や公民館が入っている同センターは老朽化が進んでおり、同会は市の協力も得ながら、増改築のコンセプトや具体

案について1年をかけて検討を行ってきた。

提案書は約60ページ。新市民センターがいつでも、誰でも、一人でも利用で

きる施設として、市民が育ち合う学びと憩い、交流の場となるための具体的な提案をまとめた。

例えば、公民館については、人がつながる場所として全ての人に開かれたコミュニティスペースの新設、若者のための学習室や防音スタジオ、一般の人向けの学習室な

案もしている。
今後の市の増改築最終案の策定に当たっては、この提案を踏まえ、市民参画で進めることも要望した。

この日、市役所を訪れた同会メンバーは、提案書を市長のほか、市議会議員、市議会議員、公民館長、教育長にも提出した。「市長からは提案書を尊重するという言葉をいただいた。会はこれで解散するが、これから新たな会を作って、実現までの道のりを探していきたい」と話している。

提案書を受け取る高橋市長＝6日、狛江市役所で

ど設備面での充実を求めたほか、社会の変化に合わせた課題解決に取り組むための講座や、事業の拡充など仕組み面での提

